

ぶどうとワイン造りを通じて、人が繋がり、夢と未来を創造する。



ぶどう品種

ぶどうを自然のままに悠々と育てるを目標に、日本品種を主としておよそ20品種を栽培しています。

ぶどう栽培

ワインは農産物です。ぶどうでワインの味は決まるからこそ、丹精込めてぶどうを育てます。

ワイン醸造

低温醗酵により果実味をそのままに仕立てたワインは、まるでぶどうの果実を頬張ったかのような笑みがこぼれる味わいです。

兔の兔 ワイナリー

Viticulture since 2007
Winemaking since 2017

兎ッ兎（とっと）の由来

民話「因幡の白うさぎ」が語り継がれる“とっとり”で、多くの人繋がりうさぎのように“とっとと…”と歩みを進めていきたいという思いから、兎ッ兎という名前になり、うさぎが描かれた兎ッ兎ワインのラベルが生まれました。右のうさぎは収穫の喜びをからだ全体で表現し、左のうさぎは醸造のため足でぶどうを踏み、2匹のうさぎで“兎ッ兎”を表しています。“生命”を表現するぶどうの“樹”が鎮座し、“永遠”を意味するぶどうの“蔓”が樹から伸びています。長く繋がる“蔓”は、人との“繋がり”を大切にするとという兎ッ兎ワイナリーの理念を表しています。



ぶどう栽培70年の歴史をもつ鳥取市国府町

兎ッ兎ワイナリーの位置する鳥取市国府町は、その昔因幡の国庁があり、山々に囲まれた広大な盆地とその中を貫くように清流袋川が流れています。歴史と自然に囲まれた国府地域は、昔からぶどう栽培の盛んな土地でした。光・風・水・土そして生き物。そこにある自然とともに育つぶどう。その土地の気候風土によりもたらされたぶどうでこそ私たちのワインはできると考えています。そして、この土地で何世代にもわたってワインを造り続けるためにサステイナブルな取組にも創業当初から力を入れています。

オーナー紹介

ぶどう産地鳥取市国府町に、農業と商工、教育、福祉など多様な事業展開を念頭に、ワイナリーを開設。ワイン造りで大事にしていることは、“なりたいうように”ぶどうを育て、個性を引き出すこと。



代表取締役 前岡美華子

ぶどう栽培・ワイン醸造

栽培するぶどう品種は、ヤマソービニオン、ヤマブランなどの日本品種を中心に欧州品種、そしてぶどうとしての美味しさと地球環境への強い適応性を併せ持つオリジナル交配品種の栽培にも力を入れています。

“自然と向き合い悠々としてぶどうを育てる”を目標に、土中微生物に着目した土造りに力を入れています。農家である私たちはぶどうの言葉を聞くように手間ひまかけて大切にぶどうを育てます。採れたてのみずみずしいぶどうたちは畑に隣接する醸造所へ直接運び込まれます。フレッシュな果実味をぎゅっと詰め込んだ兎ッ兎ワインは、花や果実の芳醇な香りとフルーティーで飲みごたえのある味わいに仕上がっています。

